

当行取締役会の実効性に関する評価結果の概要

1 評価の方法

当行取締役会は、各取締役の自己評価を踏まえた取締役会全体の実効性評価に関するアンケート結果をもとに議論を行い、2018年度における当行取締役会の実効性に関する分析及び評価を行いました。

2 評価結果の概要

取締役会は、過半数を豊富な知識・経験と高い見識を有する多様な社外取締役で構成しております。

また、それぞれの立場から忌憚なく意見交換を行い、重要な経営課題について活発な議論を展開する等、執行に対する適切な監督を行っております。

当年度は、中期経営計画の進捗を踏まえつつ、中長期的な課題について積極的に議論を行ってまいりました。昨年度に比べ、議論の多様化及び充実化は着実に前進していると認識しております。

以上のことから、取締役会全体の実効性は確保されていると評価しております。

3 今後に向けた取組み

本評価結果を踏まえ、更なる実効性向上の観点から、これまで以上に適時適切に情報共有を図ることにより、一層の議論の活性化を促進し、取締役会が監督機能を最大限発揮できるように取り組んでまいります。

以上